

まなび、せ

第60号

12月11日

発行

那珂川町立福岡女子商業高等学校 企画広報課編集

女子商マルシェお疲れ様でした。今年も1万人の来場者があり、大変盛り上がりました。店長を代表して何人かの感想を載せていきます。各自振り返ってみましょう。



西通りプリン店長 笠野 蘭(1-6)

マルシェを終えて感じたことは、無事に終えた安心感と店長としての達成感でした。今回マルシェで頑張ったことは、みんなが8大接客用語はもちろん言葉に気を付けて接客できるようになることと、私がみんなをしっかりとめることでした。商品を間違えてお客様に渡してしまい迷惑をかけてしまったことが心残りです。ミスもありましたがみんな頑張っていて感動しました。店長として最初は不安でしたがやって良かったです。お疲れ様でした。



博多屋ワッフルズ店長 新宮由里香(1-6)

最初は何もわからない中、8大接客用語や金銭授受などの会議の内容を上手に伝えることができなくて不安でいっぱいでした。会場作りの中には一つ一つの物の配置を考えるのに大変苦労しましたが、難しいことだからこそ皆で一つのことを成し遂げた喜びは今までで一番大きなものでした。皆には大変迷惑をかけましたが、とても協力してくれたので完売することが出来ました。本当に感謝しています。お疲れ様でした。



NANA CAFE 店長 友廣 貴子(2-1)

今回の女子商マルシェで私達 NANACAFE 店舗は売上千個を目標に頑張りました。当日インフルエンザや体調不良の影響で人数が少なくとても大変でした。ベーグルばかりが売れ、-half サンドの売れ行きが悪かったので見本を用意してお客様に分かりやすいように工夫しました。おかげで売上千個達成できたし、楽



しくやり通すことができました。来年は皆で元気に女子商マルシェを成功させたいです。

英我の家店長 横尾 香織(2-2)

女子商マルシェで初めて店長という役割を経験して、人をまとめる大変さと責任の重さを学びました。店長を引き受けて当初は役割を軽く見ていましたが、当日が近づくにつれて「成功させなくては」という気持ちが大きくなっていきました。マルシェ当日ではみんなで協力して成功させることができたと思います。店長を経験して本当によかったと思います。



このマルシェでもたくさんの場面で活躍している人がいます。美化係、受付・案内係、接待係、銀行部などの働きがあったからこそスムーズに運営できたこと。また、店舗の中でも表に現れない人の活躍があることを忘れないください。

次に第4号に引き続き、3年生の中で「進路決定」を実現した人からのメッセージを載せていきます。

自分を信じること

私は「九州労働金庫」から内定を頂きました。私は入学時から卒業後は就職をすると決めており、そのために今まで資格取得に力を入れてきました。就職活動をするにあたって、部活動をしていなかったという不安もありましたが、資格をたくさん取得することで自信につながり、希望する職種に内定を頂くことができました。1・2年生の皆さんも不安はあると思いますが、自分を信じて進路実現に向けて頑張ってください。(3年 渋田 朋花)

2学期のもう一つの大イベント体育祭の各ブロック長からの一言を載せていきます。体育祭の中でリーダーシップを発揮するとともに各自も成長の跡を見せてくれます。

大切な思い出

私にとって今年の体育祭は一生忘れられない体育祭になりました。今回ブロック長を務め、たくさんの貴重な経験をする事ができました。200人をまとめる大変さや、助けあいの大切さ、友達の優しさ、出来上がった時の感動...どれもかけがえのない大切な思い出です。これから、この思い出を胸に残りの学校生活を充実させ、友達を大切に、自分の夢の実現に向けて頑張りたいと思います。

(黄ブロック長 平山しおり)



史上最高の体育祭

第33回体育祭は史上最高の体育祭でした。7月にブロック長という役を頂き、9月・10月とブロック長会議を重ね、たくさんの人に支えられ一生懸命準備を進めてきました。始めは不安ばかりでしたが、体育祭が近づくにつれ気合も入り「絶対に成功させる」という気持ちで一杯になりました。優勝はできませんでしたが、みんなが必死に頑張る姿を見てとても感動しました。青ブロックのブロック長になれて本当に幸せでした。

(青ブロック長 平山 夕葵)



思わず泣いてしまった

ブロック長に選ばれた時はあまり実感できませんでした。実際に皆の前で話したり指示したりしていくと、自分の思うように進まず苦労を実感しました。何度も「辞めたい」「自分じゃなかったら」と思いましたが、本番は点数がない入場行進や体操が最高にきれいで開会式から涙が出そうになりました。辛くて悔しい思いをたくさんした分、赤ブロックへの思いが強く優勝できて思わず泣いてしまいました。素晴らしい仲間たちと出会え、最高の体育祭が成功に終わり、本当に幸せです。

(赤ブロック長 長野 佳澄)



経験しないと分からない、ブロック長の気持ちが伝わりましたか？何の取り組みに対してもそうですが、とくにスポーツ競技については、当日だけ力を出そうとしてもどうにもなりません。その前から計画的にコツコツと練習に励んでいなければケガもするでしょうし、何より良い結果が得られませんよね。そんな事前の取り組みすべてに「全力で取り組もう」とするみなさんのまともには素晴らしいものがありました。『良い結果』というのは、『良い記録』『良い数値』ではなく、自分で納得できる結果になったか、ということでしょう。

最後に教育実習生としてお世話になった2人の先生たちからのメッセージを載せましょう。目標とする先輩の一人ではないでしょうか。

教育実習は初めて経験することばかりで緊張の連続でした。特に授業は、準備も大変な上に生徒たちにうまく伝えることができず苦勞しましたけれども、とても良い経験になったと思います。未熟な私の授業を一生懸命に聞き、授業に協力してくれた生徒たちには本当に感謝したいです。「先生」と呼ばれる喜びと責任の重さを知った2週間でした。今回の実習を活かし、これからも精いっぱい努力していきます。本当にありがとうございました。

(柴田 奈緒美先生)

2週間という短い期間でしたが、とても充実した毎日でした。教室や廊下、食堂などで声をかけてくれて有難うございました。皆さんの笑顔には、本当に元気をもらいました。教育実習を通して改めて「女子商って素敵な学校だな」「女子商の卒業生で良かったな」と思うとともに、さらに女子商のことが大好きになりました。みなさんも女子商生であることに“誇り”を持って、これからもより大きな女子商“愛”を育んでいってください。(中村 綾花先生)

